

注3

大学番号：私552

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

産業医科大学大学院 医学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人産業医科大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	大学事務部 教務課
職名・氏名	課長代理・ <small>オ</small> 小 <small>タ</small> 田 <small>アユム</small> 歩
電話番号	093-603-1611
（夜間）	093-603-1611
F A X	093-602-5482
e-mail	a-oda@pub.uoeh-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	5
3 施設・設備の整備状況、経費	10
4 既設大学等の状況	11
5 教員組織の状況	12
6 留意事項に対する履行状況等	19
7 その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人産業医科大学

(2) 大学名 産業医科大学

(3) 大学の位置

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウミノ タカシ) 海野 孝 (平成22年4月)		
学長	(コウノ キミトシ) 河野 公俊 (平成23年4月)		
研究科長	(コウロギ ユクノリ) 興 柁 征 典 (平成23年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	4 年	40 人	160 人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 () []								0.57倍	
志願者数	25 (13) [4]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	25 (13) [4]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	23 (13) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	23 (13) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.57									

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 23	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[2] 23	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注)
- ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	23 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		%
合 計	23 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学研究科 医学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	産業医学研究基盤コース	1通	2			1						
	医学研究概論	1通		2		17	10					
	産業医学特論	1通		1		8	1					
	医学英語特別コース	1通		1		23	15					
専門領域科目	解剖学特論	1~2通		6			1					
	解剖学演習	2~3通		6			1					
	解剖学実習	2~4通		6			1					
	解剖学論文指導	3~4通		6			1					
	組織学特論	1~2通		6			1					
	組織学演習	2~3通		6			1					
	組織学実習	2~4通		6			1		1			
	組織学論文指導	3~4通		6			1		1			
	法医学特論	1~2通		6			1					
	法医学演習	2~3通		6			1					
	法医学実習	2~4通		6			1					
	法医学論文指導	3~4通		6			1					
	法医認定医養成講座	1~4通		2			1					
	生化学特論	1~2通		6			1					
	生化学演習	2~3通		6			1					
	生化学実習	2~4通		6			1					
	生化学論文指導	3~4通		6			1					
	腫瘍生化学特論	1前		1			1					
	がんゲノム情報解析I	1前		1			1					
	分子生物学特論	1~2通		6				1				
	分子生物学演習	2~3通		6				1				
	分子生物学実習	2~4通		6				1				
	分子生物学論文指導	3~4通		6				1				
	腫瘍分子生物学	2前		1				1				
	免疫学特論	1~2通		6			1					
	免疫学演習	2~3通		6			1					
	免疫学実習	2~4通		6			1		1			
	免疫学論文指導	3~4通		6			1		1			
	腫瘍免疫学	1前		2			1					
	病理形態学特論	1~2通		6			1					
	病理形態学演習	2~3通		6			1					
	病理形態学実習	2~4通		6			1			1		
	病理形態学論文指導	3~4通		6			1			1		
	病理専門医養成講座II	1~4通		2			1					
	腫瘍病理学	2前		0.5			1					
	神経生理学特論	1~2通		6			1					
	神経生理学演習	2~3通		6			1					
	神経生理学実習	2~4通		6			1					
	神経生理学論文指導	3~4通		6			1					
	細胞生理学特論	1~2通		6			1					
	細胞生理学演習	2~3通		6			1					
	細胞生理学実習	2~4通		6			1					
細胞生理学論文指導	3~4通		6			1						
薬理学特論	1~2通		6			1						
薬理学演習	2~3通		6			1						
薬理学実習	2~4通		6			1						
薬理学論文指導	3~4通		6			1						
産業衛生学特論	1~2通		6			1						
産業衛生学演習	2~3通		6			1						
産業衛生学実習	2~4通		6			1			1			
産業衛生学論文指導	3~4通		6			1			1			
放射線衛生学特論	1~2通		6				1					
放射線衛生学演習	2~3通		6				1					
放射線衛生学実習	2~4通		6				1					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 領域 科目	放射線衛生学論文指導	3~4通		6			1					
	労働衛生工学特論	1~2通		6		1						
	労働衛生工学演習	2~3通		6		1						
	労働衛生工学実習	2~4通		6		1						
	労働衛生工学論文指導	3~4通		6		1						
	環境衛生化学特論	1後		0.5		1						
	環境疫学特論	1~2通		6		1						
	環境疫学演習	2~3通		6		1						
	環境疫学実習	2~4通		6		1						
	環境疫学論文指導	3~4通		6		1						
	環境産業疫学特論	1前		0.5		1						
	集団健診論	1後		0.25		1						
	公衆衛生学特論	1~2通		6		1						
	公衆衛生学演習	2~3通		6		1						
	公衆衛生学実習	2~4通		6		1	1		1			
	公衆衛生学論文指導	3~4通		6		1	1					
	計量分析疫学特論	1前		0.75		1						
	寄生虫学特論	1~2通		6		1						
	寄生虫学演習	2~3通		6		1						
	寄生虫学実習	2~4通		6		1	1					
	寄生虫学論文指導	3~4通		6		1	1					
	産業保健管理学特論	1~2通		6		1						
	産業保健管理学演習	2~3通		6		1						
	産業保健管理学実習	2~4通		6		1	1					
	産業保健管理学論文指導	3~4通		6		1	1					
	神経内科学特論	1~2通		6			1					
	神経内科学演習	2~3通		6			1					
	神経内科学実習	2~4通		6			1		1			
	神経内科学論文指導	3~4通		6			1					
	神経内科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	精神医学特論	1~2通		6			1					
	精神医学演習	2~3通		6			1					
	精神医学実習	2~4通		6			2					
	精神医学論文指導	3~4通		6			2					
	精神科専門医・精神保健指 定医養成講座	1~4通		2			1					
	職業性中毒学特論	1~2通		6			1					
	職業性中毒学演習	2~3通		6			1					
	職業性中毒学実習	2~4通		6			1					
	職業性中毒学論文指導	3~4通		6			1					
	がん患者の職場復帰と産業 医の役割	1前		1			1					
	病態制御内科学特論	1~2通		6			1					
	病態制御内科学演習	2~3通		6			1					
	病態制御内科学実習	2~4通		6			1	1		1		
	病態制御内科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	リウマチ専門医養成講座	1~4通		2			1					
	糖尿病専門医・内分泌専門 医養成講座	1~4通		2			1					
	病態病理学特論	1~2通		6			1					
	病態病理学演習	2~3通		6			1					
	病態病理学実習	2~4通		6			1			1		
	病態病理学論文指導	3~4通		6			1			1		
病理専門医養成講座 I	1~4通		2			1						
細胞診専門医養成講座	1~4通		2			1						
環境発癌	2前		0.5			1						
TNM分類・病期診断	1前		0.5			1						
微生物学特論	1~2通		6			1						
微生物学演習	2~3通		6			1						
微生物学実習	2~4通		6						2			
微生物学論文指導	3~4通		6			1			1			
消化器内分泌外科学特論	1~2通		6			1						
消化器内分泌外科学演習	2~3通		6			1						
消化器内分泌外科学実習	2~4通		6			1	1					
消化器内分泌外科学論文指 導	3~4通		6			1	1					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 領域 科目	外科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	腹部障害特論	1前		0.5			1					
	腹部外科腫瘍学	1前		0.5			1					
	腹部外科再建外科学	1前		1			1					
	がん治療の基本原則 I	1前		1			1					
	胸部外科学特論	1~2通		6			1					
	胸部外科学演習	2~3通		6			1					
	胸部外科学実習	2~4通		6			1	1				
	胸部外科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	呼吸器外科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	乳腺外科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	胸部障害再建外科学	1後		1			1					
	がんゲノム情報解析 II	2前		1			1					
	整形外科特論	1~2通		6				1				
	整形外科演習	2~3通		6				1				
	整形外科実習	2~4通		6				1	1			
	整形外科論文指導	3~4通		6				1	1			
	整形外科専門医養成講座	1~4通		2				1				
	リハビリテーション医学特論	1~2通		6				1				
	リハビリテーション医学演習	2~3通		6				1				
	リハビリテーション医学実習	2~4通		6				1	1			
	リハビリテーション医学論文指導	3~4通		6				1	1			
	リハビリテーション専門医養成講座	1~4通		2				1				
	消化器内科学特論	1~2通		6				1				
	消化器内科学演習	2~3通		6				1				
	消化器内科学実習	2~4通		6				1	1	1		
	消化器内科学論文指導	3~4通		6				1	1			
	皮膚科学特論	1~2通		6				1				
	皮膚科学演習	2~3通		6				1				
	皮膚科学実習	2~4通		6				1				
	皮膚科学論文指導	3~4通		6				1				
	皮膚科専門医養成講座	1~4通		2				1				
	泌尿器科学特論	1~2通		6					1			
	泌尿器科学演習	2~3通		6					1			
	泌尿器科学実習	2~4通		6					1			
	泌尿器科学論文指導	3~4通		6					1			
	泌尿器科専門医養成講座	1~4通		2					1			
	がん診療体制の整備とがん診療における医療連携	2前		1				1				
	循環器学特論	1~2通		6				1				
	循環器学演習	2~3通		6				1				
	循環器学実習	2~4通		6				1	1	1		
	循環器学論文指導	3~4通		6				1	1			
	循環器専門医養成講座	1~4通		2				1				
	腎臓学特論	1~2通		6				1				
	腎臓学演習	2~3通		6				1				
	腎臓学実習	2~4通		6				1	1	1		
	腎臓学論文指導	3~4通		6				1	1			
	腎臓専門医養成講座	1~4通		2				1				
	放射線科学特論	1~2通		6				1				
	放射線科学演習	2~3通		6				1				
放射線科学実習	2~4通		6				1	1	1			
放射線科学論文指導	3~4通		6				1	1	1			
放射線科専門医養成講座	1~4通		2				1					
放射線腫瘍学	1前・2後		3				1					
呼吸器内科学特論	1~2通		6				1					
呼吸器内科学演習	2~3通		6				1					
呼吸器内科学実習	2~4通		6				1	1				
呼吸器内科学論文指導	3~4通		6				1	1				
呼吸器内科専門医養成講座	1~4通		2				1					
人間工学特論	1~2通		6				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門領域科目	人間工学演習	2~3通		6		1						
	人間工学実習	2~4通		6		1	1					
	人間工学論文指導	3~4通		6		1	1					
	脳神経外科学特論	1~2通		6		1						
	脳神経外科学演習	2~3通		6		1						
	脳神経外科学実習	2~4通		6		1	1					
	脳神経外科学論文指導	3~4通		6		1	1					
	脳神経外科専門医養成講座	1~4通		2		1						
	眼科学特論	1~2通		6			1					
	眼科学演習	2~3通		6			1					
	眼科学実習	2~4通		6			1	1				
	眼科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	眼科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	耳鼻咽喉科学特論	1~2通		6			1					
	耳鼻咽喉科学演習	2~3通		6			1					
	耳鼻咽喉科学実習	2~4通		6			1	1				
	耳鼻咽喉科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	耳鼻咽喉科専門医養成講座	1~4通		2			1					
	麻酔科学特論	1~2通		6				1				
	麻酔科学演習	2~3通		6				1				
	麻酔科学実習	2~4通		6				1				
	麻酔科学論文指導	3~4通		6				1				
	麻酔科専門医養成講座	1~4通		2				1				
	緩和ケアの基本概念と実践	1前		3				1				
	産科婦人科学特論	1~2通		6			1					
	産科婦人科学演習	2~3通		6			1					
	産科婦人科学実習	2~4通		6			1	1	1			
	産科婦人科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	臨床腫瘍診断学	1後		0.5			1					
	小児科学特論	1~2通		6			1					
	小児科学演習	2~3通		6			1					
	小児科学実習	2~4通		6			1	1				
	小児科学論文指導	3~4通		6			1	1				
	小児科専門医養成講座	1~4通		2			1					
がん治療の基本原則Ⅱ	1前		2			1						
各種がんの治療	1前		2			1						
がんの生命倫理、法的経済的問題、心理社会的側面	1前		2			1						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	216	0	217	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校舎敷地	13,682㎡	0㎡	0㎡	13,682㎡					
	運動場用地	43,544㎡	0㎡	0㎡	43,544㎡					
	小 計	57,226㎡	0㎡	0㎡	57,226㎡					
	そ の 他	169,483㎡	0㎡	0㎡	169,483㎡					
	合 計	226,709㎡	0㎡	0㎡	226,709㎡					
(2) 校 舎	専 用	48,183㎡	0㎡	0㎡	48,183㎡					
	(48,183㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(48,183㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	21室	演 習 室	14室	実験実習室	23室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	1室
						(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	医学研究科 医学専攻			78 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル						
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点				
	医学研究科 医学専攻	123,617 [42,685] (120,812 [42,282])	376 [213] (350 [200])	196 [196] (184 [183])	4,702 (4,616)	40,932 (40,932)	71 (71)			
計	123,617 [42,685] (120,812 [42,282])	376 [213] (350 [200])	196 [196] (184 [183])	4,702 (4,616)	40,932 (40,932)	71 (71)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	2,480㎡		196		206,667					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,130㎡		武道館(弓道場、武道場)		屋内温水プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	56,990千円	56,990千円	56,990千円		
	共 同 研 究 費 等	19,000千円	19,000千円	設備購入費	274,000千円	274,000千円	274,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		818千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		産業医学助成費補助金、手数料収入、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	産業医科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学部 医学科	6	105	—	630	学士(医学)	1.00	昭和53	福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号	
産業保健学部 看護学科	4	70	—	280	学士(看護学)	1.00	平成8	福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号	
環境マネジメント学科	4	20	—	80	学士(保健衛生学)	1.02	平成16	〃	
大学の名称	産業医科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	平成25年より学生募集停止
	年	人	年次人	人		倍			
医学研究科 医学専攻	4	40	—	160	博士(医学)	0.57	平成25	福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号	
生体適応系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和59	〃	
環境・産業生態系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和59	〃	
障害機構系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和59	〃	
生体情報系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和59	〃	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科)大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	菊田 彰夫 (63)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 解剖学特論						
専	教授	上野 光 (58)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 生化学特論 生化学演習 生化学実習 生化学論文指導 腫瘍生化学特論 がんゲノム情報解析I						
専	教授	上田 陽一 (53)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 神経生理学特論 神経生理学演習 神経生理学実習 神経生理学論文指導						
専	教授	井上 真澄 (58)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 細胞生理学特論 細胞生理学演習 細胞生理学実習 細胞生理学論文指導						
専	教授	柳原 延章 (61)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 薬理学特論 薬理学演習 薬理学実習 薬理学論文指導						
専	教授	川本 俊弘 (56)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 産業衛生学特論 産業衛生学演習 産業衛生学実習※ 産業衛生学論文指導						
専	教授	明星 敏彦 (58)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 労働衛生工学特論 労働衛生工学演習 労働衛生工学実習 労働衛生工学論文指導 環境衛生化学特論						
専	教授	上野 晋 (48)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 職業性中毒学特論 職業性中毒学演習 職業性中毒学実習 職業性中毒学論文指導						
専	教授	高橋 謙 (56)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 環境疫学特論 環境疫学演習 環境疫学実習 環境疫学論文指導 環境産業疫学特論 集団健診論						
専	教授	松田 晋哉 (53)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 公衆衛生学実習※ 公衆衛生学論文指導 計量分析疫学特論						
専	教授	金澤 保 (58)	平成25年4月	産業医学特論※ 免疫学特論 免疫学演習 免疫学実習※ 免疫学論文指導 寄生虫学特論 寄生虫学演習 寄生虫学実習※ 寄生虫学論文指導 腫瘍免疫学 微生物学特論 微生物学演習 微生物学論文指導						

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	堀江 正知 (51)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 産業保健管理特論 産業保健管理学演習 産業保健管理学実習※ 産業保健管理学論文指導						
専	教授	中村 純 (63)	平成25年4月	産業医学特論※ 医学英語特別コース※ 精神医学特論						
専	教授	田中 良哉 (53)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 病態制御内科学特論 病態制御内科学演習 病態制御内科学実習※ 病態制御内科学論文指導 リウマチ専門医養成講座 糖尿病専門医・内分泌専門医養成講座						
専	教授	久岡 正典 (49)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 病態病理学特論 病態病理学演習 病態病理学実習※ 病態病理学論文指導 病理専門医養成講座Ⅰ 細胞診専門医養成講座 環境発癌 TNM分類・病期診断 病理形態学特論 病理形態学演習 病理形態学実習※ 病理形態学論文指導 病理専門医養成講座Ⅱ 腫瘍病理学						
専	教授	谷口 初美 (63)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 微生物学特論						
専	教授	山口 幸二 (61)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 消化器内分科学特論 消化器内分科学演習 消化器内分科学実習※ 消化器内分科学論文指導 外科専門医養成講座 腹部障害特論 腹部外科腫瘍学 腹部外科再建外科学 がん治療の基本原則Ⅰ						
専	教授	田中 文啓 (52)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 胸部外科学特論 胸部外科学演習 胸部外科学実習※ 胸部外科学論文指導 呼吸器外科専門医養成講座 乳腺外科専門医養成講座 胸部障害再建外科学 がんゲノム情報解析Ⅱ						
専	教授	中村 利孝 (64)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※						平成25年3月 一身上の都合により退職 医学研究概論※及び医学英語特別 コース※は、オムニバス方式のため、 支障なし
専	教授	蜂須賀 研二 (63)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ リハビリテーション医学特論						
専	教授	原田 大 (51)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 消化器内科学特論 消化器内科学演習 消化器内科学実習※ 消化器内科学論文指導						
専	教授	中村 元信 (46)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 皮膚科学特論 皮膚科学演習 皮膚科学実習 皮膚科学論文指導 皮膚科専門医養成講座						

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	松本 哲朗 (63)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 泌尿器科学特論						
専	教授	尾辻 豊 (56)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 循環器学特論 循環器学演習 循環器学実習※ 循環器学論文指導 循環器専門医養成講座 腎臓学特論 腎臓学演習 腎臓学実習※ 腎臓学論文指導 腎臓専門医養成講座						
専	教授	興梠 征典 (57)	平成25年4月	産業医学研究基礎コース 医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 放射線科学特論 放射線科学演習 放射線科学実習※ 放射線科学論文指導 放射線科専門医養成講座 放射線腫瘍学 がん診療体制の整備とがん診療における医療連携 がん患者の職場復帰と産業医の役割 がん治療の基本原則Ⅱ 各種がんの治療 がんの生命倫理、法的、経済的問題、心理社会的側面						
専	教授	迎 寛 (52)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 呼吸器内科学特論 呼吸器内科学演習 呼吸器内科学実習※ 呼吸器内科学論文指導 呼吸器内科専門医養成講座						
専	教授	藤木 通弘 (49)	平成25年4月	産業医学特論※ 人間工学特論 人間工学演習 人間工学実習※ 人間工学論文指導						
専	教授	西澤 茂 (60)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 脳神経外科学特論 脳神経外科学演習 脳神経外科学実習※ 脳神経外科学論文指導 脳神経外科専門医養成講座						
専	教授	鈴木 秀明 (55)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 耳鼻咽喉科学特論 耳鼻咽喉科学演習 耳鼻咽喉科学実習※ 耳鼻咽喉科学論文指導 耳鼻咽喉科専門医養成講座						
専	教授	佐多 竹良 (63)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 麻酔科学特論						
専	教授	蜂須賀 徹 (60)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 産科婦人科学特論 産科婦人科学演習 産科婦人科学実習※ 産科婦人科学論文指導 臨床産科断学						
専	教授	楠原 浩一 (54)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 小児科学特論 小児科学演習 小児科学実習※ 小児科学論文指導 小児科専門医養成講座						
専	准教授	森本 景之 (42)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 解剖学特論 解剖学演習 解剖学実習 解剖学論文指導 組織学特論 組織学演習 組織学実習※ 組織学論文指導						

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	准教授	佐藤 寛晃 (38)	平成25年4月						
専	准教授	和泉 弘人 (51)	平成25年4月	専	教授	岩井 佳子 (41)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 分子生物学特論 分子生物学演習 分子生物学実習 分子生物学論文指導 腫瘍分子生物学	平成25年4月 和泉弘人准教授は配置換えにより大学院医学専攻の担当解除 平成25年5月 岩井佳子教授を新規採用
専	准教授	吉田 安宏 (45)	平成25年4月						
専	准教授	大津山 彰 (56)	平成25年4月						
専	准教授	藤野 善久 (39)	平成25年4月						
専	准教授	長田 良雄 (49)	平成25年4月						
専	准教授	井上 仁郎 (58)	平成25年4月						
専	准教授	赤松 直樹 (50)	平成25年4月						
専	准教授	新開 隆弘 (44)	平成25年4月						
専	准教授	吉村 玲児 (52)	平成25年4月						
専	准教授	齋藤 和義 (53)	平成25年4月						
専	准教授	日暮 愛一郎 (51)	平成25年4月						
専	准教授	花桐 武志 (50)	平成25年4月						
専	准教授	酒井 昭典 (51)	平成25年4月						
専	准教授	和田 太 (49)	平成25年4月						
専	准教授	久米 恵一郎 (50)	平成25年4月						
専	准教授	藤本 直浩 (54)	平成25年4月						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	竹内 正明 (54)	平成25年4月	循環器学実習※ 循環器学論文指導 腎臓学実習※ 腎臓学論文指導						
専	准教授	青木 隆敏 (48)	平成25年4月	放射線科学実習※ 放射線科学論文指導						
専	准教授	矢寺 和博 (43)	平成25年4月	呼吸器内科学実習※ 呼吸器内科学論文指導						
専	准教授	泉 博之 (47)	平成25年4月	医学英語特別コース※ 人間工学実習※ 人間工学論文指導						
専	准教授	山本 淳考 (41)	平成25年4月	脳神経外科学実習※ 脳神経外科学論文指導						
専	准教授	近藤 寛之 (49)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 眼科学特論 眼科学実習※ 眼科学論文指導 眼科専門医養成講座						
専	准教授	川崎 貴士 (49)	平成25年4月	医学研究概論※ 医学英語特別コース※ 麻酔科学特論 麻酔科学実習※ 麻酔科学論文指導 麻酔科専門医養成講座 緩和ケアの基本概念と実践						
専	准教授	松浦 祐介 (51)	平成25年4月	産科婦人科学実習※ 産科婦人科学論文指導			後任未定			平成25年4月 配置換えにより大学院医学専攻の担当解除 産科婦人科学実習※は、オムニバス方式のため、支障なし 産科婦人科学論文指導は、後任が決まるまで、教授が担当する
専	准教授	下野 昌幸 (52)	平成25年4月	医学英語特別コース※ 小児科学実習※ 小児科学論文指導						
専	講師	馬場 良子 (41)	平成25年4月	組織学実習※ 組織学論文指導						
専	講師	山田 壮亮 (36)	平成25年4月	病理形態学実習※ 病理形態学論文指導						
専	講師	辻 真弓 (37)	平成25年4月	産業衛生学実習※ 産業衛生学論文指導						
専	講師	久保 達彦 (38)	平成25年4月	公衆衛生学実習※						
専	講師	兒玉 直樹 (43)	平成25年4月	神経内科学実習※						
専	講師	岡田 洋右 (52)	平成25年4月	病態制御内科学実習※						
専	講師	松山 篤二 (41)	平成25年4月	病態病理学実習※ 病態病理学論文指導						
専	講師	小川 みどり (57)	平成25年4月	微生物学実習※ 微生物学論文指導						
専	講師	福田 和正 (44)	平成25年4月	微生物学実習※						
専	講師	大西 英生 (51)	平成25年4月	整形外科実習※ 整形外科論文指導						
専	講師	岡崎 哲也 (46)	平成25年4月	リハビリテーション医学実習※ リハビリテーション医学論文指導						
専	講師	山本 光勝 (46)	平成25年4月	消化器内科学実習※						
専	講師	園田 信成 (46)	平成25年4月	循環器学実習※ 腎臓学実習※						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	講師	掛田 伸吾 (44)	平成25年4月	放射線科学実習※ 放射線科学論文指導						
専	講師	川越 俊典 (46)	平成25年4月	産科婦人科学実習※						
専	講師	岩崎 常人 (56)	平成25年4月	眼科学実習※ 眼科学論文指導						
専	講師	永谷 群司 (46)	平成25年4月	耳鼻咽喉科学実習※ 耳鼻咽喉科学論文指導						
専	助教	副島 慶輝 (40)	平成25年4月	脳神経外科学実習※						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
36	25	61	36	24	60	62	7
(36)	(25)	(61)	[0]	[Δ1]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	中村 利孝	一身上の都合により退職
2	准教授	和泉 弘人	配置換えにより大学院医学専攻の担当解除
3	准教授	松浦 祐介	配置換えにより大学院医学専攻の担当解除

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職者等で予測できる教員の補充は随時、行っているところであるが、自己都合による退職については難しい。今回の退職者については、完成年度前に定年退職を迎えることからオムニバス方式の授業を担当しており、学生の履修等への影響は無い。
また、配置換えについては、学生の履修等への影響が無いように、教員を補充することにしており、後任が決まるまで、研究指導教員が担当する。

学生への周知方法については、必要に応じて掲示板もしくは院生に対して個別説明により周知を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

(該当なし)

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科 医学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 (特になし)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FDの企画・実施等については、学長、研究科長及び各学部長をディレクターとして、テーマ毎に教員数名を構成して平成12年度から取り組んでいる。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

年数回のFD開催に向けて適宜実施している。

c 委員会の審議事項等

テーマ及び効果的な実施方法について

② 実施状況

a 実施内容

平成20年4月 ・診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)の現状と課題～佐賀大学医学部における取り組み～

平成20年8月 ・医学部における学生評価 「自律的学習自己評価システムについて」

・入学試験面接の現状と課題

平成21年2月 ・医師国家試験の問題作成について

平成21年8月 ・「Eisei C B Tシステムの概要」について

・「学習意欲を高めるために；現状の問題点」

平成22年2月 ・「医学英語教育のヒント」

平成22年8月 ・「学生の理解度を高める講義」

平成23年8月 ・「入学試験の面接」

平成24年8月 ・「臨床実習の改善」及び「学習成果基盤型教育(outcome-based education)」

b 実施方法

講演及びディスカッション

c 開催状況(教員の参加状況含む)

構内放送、掲示及び学内allメールにより、すべての教員に参加を呼びかけ開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演者への質問や受講者同士の意見交換が行われており、各教員への刺激になっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各授業科目終了後、それぞれの授業科目で授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教員及び学生にはメールにより公開している。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ・平成24年7月に作成した「産業医科大学自己点検・評価報告書」に基づいて、平成24年11月の外部評価委員会において、「日本の産業医学の中核となる産業医の育成についてさらに発展させること。産業医科大学らしい大学院専攻をつくることを前提に発展させること、国際交流を積極的に進めること等の評価結果が取りまとめられたため、当該評価結果を付して、平成25年度に第2回目の認定評価を受けるべく、現在、各組織体が諸準備を行っている。
- ② 自己点検・評価報告書
- ・平成25年度中に認証評価機関の認証評価を受ける予定である。
- a 公表（予定）時期
- ・平成26年4月1日 公表予定
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成26年4月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成18年度に認証評価機関（公益財団法人 大学基準協会）より大学基準に適合しているものと認定された。
 - ・平成26年3月末に、第2回目の認証評価を受けるべく、準備を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (今回の報告書の結果を受けて公表)